



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <http://www.rohto.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉野 俊昭

問合せ先責任者(役職名) 取締役 経営企画本部長

(氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-1211

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	32,879	△7.2	2,217	19.4	2,432	13.1	1,373	3.4
28年3月期第1四半期	35,428	18.0	1,857	166.1	2,150	94.9	1,328	104.7

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △133百万円(—%) 28年3月期第1四半期 2,654百万円(362.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	12.07	12.02
28年3月期第1四半期	11.69	11.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	169,402	110,099	64.4
28年3月期	179,573	111,271	61.4

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 109,103百万円 28年3月期 110,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	10.00	—	11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	△3.0	7,000	△2.4	6,800	△9.5	4,300	△11.8	37.78
通期	163,000	△2.4	15,500	△1.2	15,200	△0.9	9,500	4.4	83.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	117,936,284株	28年3月期	117,929,250株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	4,125,366株	28年3月期	4,187,266株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	113,765,218株	28年3月期1Q	113,612,163株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 自己株式数には、従業員持株E S O P信託の保有する当社株式数(期末自己株式数 29年3月期1Q 106,700株、28年3月期 168,600株)が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府や日銀による金融政策等の一定の効果はあったものの、中国をはじめとした海外経済の減速懸念に加えて、年初からの円高進行や株価下落により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても消費者ニーズの変化に対応した高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は328億7千9百万円（前年同期比 7.2%減）となりました。日本においては、インバウンド需要の寄与は続いているものの、リベート形態の見直しに伴う医薬品の出荷価格の引下げや競争激化が続くスキンケア関連品が伸び悩んだことが影響しております。海外においても円高による為替換算の影響に加え、中国の経済活動の減速により減収となりました。

利益面につきましては、売上が為替の影響等により減収となったものの、販管費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、営業利益は22億1千7百万円（同 19.4%増）、経常利益は24億3千2百万円（同 13.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億7千3百万円（同 3.4%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (日本)

外部顧客への売上高は、210億3千5百万円（前年同期比 2.4%減）となりました。

競争激化が続く日やけ止めに加え、主力の「肌ラボ」シリーズも伸び悩みました。一方、男性用デオドラントブランド「デ・オウ」、肌にやさしく、しっかり染まるカラートリートメントを追加した「50の恵」、「スガオシフォン感パウダー」を追加した「SUGAO」などが好調に推移しており、インバウンド需要に伴う売上も順調でありました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が減少したことに加え、原価率が上昇したことにより、11億9百万円（同 9.8%減）となりました。

#### (アメリカ)

外部顧客への売上高は、15億9千6百万円（前年同期比 11.2%減）となりました。

米国経済が個人消費の堅調な推移により緩やかな回復の兆しを見せてきているものの、主力のリップクリームが減収となりました。一方、目薬については堅調に推移いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより、2億3千2百万円の損失（前年同期のセグメント損失は6億5千1百万円）と大幅に改善しました。

#### (ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、18億7千万円（前年同期比 9.2%減）となりました。

ヨーロッパにおきましては、為替の影響により、円換算での売上のマイナスの影響はあるものの、現地通貨ベースでは、概ね順調に推移しております。特に、消炎鎮痛剤「ディープヒート」シリーズが堅調に推移いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、原価率の改善等により1億7千2百万円（同 37.4%増）となりました。

#### (アジア)

外部顧客への売上高は、78億3千6百万円（前年同期比 17.4%減）となりました。

売上につきましては、中国において経済活動が減速したことに伴い全般的に伸び悩みました。一方、ベトナムやインドネシアなどは好調に推移しており、現地通貨ベースでは20%程度の増収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が伸び悩んだものの、広告費及び販売促進費の効率的活用に努め、11億3千6百万円（同 9.2%増）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、5億3千9百万円（前年同期比 1.1%増）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、2千8百万円（同 26.6%減）となりました。

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は1,694億2百万円となり、前連結会計年度末より101億7千万円減少いたしました。これは、商品及び製品が15億9百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が85億7千7百万円、電子記録債権が30億2千2百万円減少したこと等によるものであります。

負債総額は593億3百万円となり、前連結会計年度末より89億9千8百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金が4億8百万円増加した一方、未払費用が44億9千9百万円、未払法人税等が26億6千6百万円、賞与引当金が11億3千4百万円、売上割戻引当金が5億9千万円、返品調整引当金が5億7千9百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,100億9千9百万円となり、前連結会計年度末より11億7千2百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が2億3千4百万円増加した一方、為替換算調整勘定が9億9千7百万円、その他有価証券評価差額金が5億3千1百万円減少したこと等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、おおむね計画通りに推移しているため、平成28年5月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は変更しておりません。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

### (4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,073	23,435
受取手形及び売掛金	37,327	28,749
電子記録債権	11,654	8,632
商品及び製品	13,241	14,751
仕掛品	2,260	2,628
原材料及び貯蔵品	7,534	8,163
その他	6,817	7,114
貸倒引当金	△157	△275
流動資産合計	101,752	93,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,322	21,182
その他（純額）	26,717	26,078
有形固定資産合計	48,040	47,260
無形固定資産		
のれん	1,130	1,058
その他	2,372	2,198
無形固定資産合計	3,502	3,256
投資その他の資産		
投資有価証券	21,405	20,746
その他	6,558	6,824
貸倒引当金	△1,686	△1,883
投資その他の資産合計	26,277	25,687
固定資産合計	77,821	76,204
資産合計	179,573	169,402
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,796	10,204
電子記録債務	2,559	2,438
短期借入金	4,452	4,340
未払費用	27,280	22,781
未払法人税等	3,645	978
賞与引当金	2,064	929
役員賞与引当金	30	7
返品調整引当金	1,239	660
売上割戻引当金	2,290	1,700
その他	5,999	6,621
流動負債合計	59,357	50,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	994	983
退職給付に係る負債	5,381	5,325
その他	2,568	2,331
<b>固定負債合計</b>	<b>8,944</b>	<b>8,640</b>
負債合計	68,301	59,303
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,411	6,415
資本剰余金	5,738	5,742
利益剰余金	98,675	98,910
自己株式	△5,207	△5,107
<b>株主資本合計</b>	<b>105,618</b>	<b>105,961</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>5,438</b>	<b>4,907</b>
為替換算調整勘定	1,296	299
退職給付に係る調整累計額	△2,113	△2,063
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>4,621</b>	<b>3,142</b>
<b>新株予約権</b>	<b>568</b>	<b>560</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>462</b>	<b>435</b>
<b>純資産合計</b>	<b>111,271</b>	<b>110,099</b>
負債純資産合計	179,573	169,402



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	35,428	32,879
売上原価	15,091	14,343
売上総利益	20,336	18,535
返品調整引当金戻入額	30	90
差引売上総利益	20,366	18,625
販売費及び一般管理費	18,509	16,408
営業利益	1,857	2,217
営業外収益		
受取利息	61	47
受取配当金	261	188
持分法による投資利益	17	—
その他	63	81
営業外収益合計	403	317
営業外費用		
支払利息	44	33
持分法による投資損失	—	54
その他	65	14
営業外費用合計	110	102
経常利益	2,150	2,432
特別損失		
投資有価証券評価損	—	217
関係会社株式評価損	—	6
貸倒引当金繰入額	40	210
関係会社貸倒引当金繰入額	—	2
特別損失合計	40	435
税金等調整前四半期純利益	2,110	1,996
法人税等	787	628
四半期純利益	1,322	1,368
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,328	1,373

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,322	1,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	393	△536
為替換算調整勘定	920	△929
退職給付に係る調整額	0	49
持分法適用会社に対する持分相当額	17	△85
その他の包括利益合計	1,331	△1,501
四半期包括利益	2,654	△133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,663	△105
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	△27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	21,546	1,798	2,061	9,489	34,895	533	35,428	—	35,428
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	362	280	0	691	1,335	6	1,341	△1,341	—
計	21,908	2,079	2,062	10,181	36,231	539	36,770	△1,341	35,428
セグメント利益 又は損失(△)	1,229	△651	125	1,040	1,743	39	1,783	74	1,857

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額74百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	21,035	1,596	1,870	7,836	32,339	539	32,879	—	32,879
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	550	273	0	674	1,497	13	1,510	△1,510	—
計	21,586	1,869	1,870	8,511	33,837	552	34,390	△1,510	32,879
セグメント利益 又は損失(△)	1,109	△232	172	1,136	2,185	28	2,214	2	2,217

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。